

いつも大変お世話になり、ありがとうございます。

韓国との関係がかなり悪化しています。これは日韓だけの話ではなく、アジアにおける日本の国益に深くかかわっている、という大きな視野を持たなければいけません。

というのも、我が国の平和と安定は、韓国ではなく中国や北朝鮮に脅かされているからです。これらの国に対し、抑止力を効かせつつ対話を常につづけるしか道はありません。どちらが欠けても、平和と安定に亀裂が生じます。

ただ、この「抑止力」は残念ながら日本一国の力ではどんなに背伸びをしても難しい。したがって、様々な不満があっても、日米軍事同盟を中心に、同じ利益をもつ諸国との連携が必要不可欠なのです。そして韓国は、同じように米韓軍事同盟を組み、我が国とも防衛の連携をしてきました。

逆に、中国、北朝鮮は、こうした日本と各国との連携による抑止力をうっとうしいと感じています。これらの連携が壊れることを強く望んでいます。

韓国に対する輸出規制は、これまで「慰安婦」や「徴用

工」問題をめぐり約束を反故にし、レーダー照射の件で不信感をもたらしたことに對する牽制の一つの手段です。これはこれでやむを得ないと考えます。

しかし、韓国が逆に「対日軍事協定 (GSOMIA)」を破棄したことは、日米韓による抑止体制を揺るがすことにつながりかねません。

この本質は「日韓の共通の国益は何か」ということを冷静に見極めることです。文政権は、トランプ外交のパフォーマンスにも触発されて、北朝鮮が改心することに期待感をもっているが、これは果たして現実的なのか。また、中国の「忍び足侵略主義」に対してどう対応していくつもりなのか。

当面は、解決を急がずに、米国を交えてお互いの「国益」について水面下で議論をしていくしかないでしょう。国家関係は、好き嫌いとか義理人情とか観光交流ではなく、冷徹な国益で決めるべきです。我が国も、2月号でも書いたように「脅威となっているのは韓国よりも、断然中国と北朝鮮であるという大局」を踏まえながら、時間をかけて韓国を説得していくべきです。